

令和7年度第1回山口・防府医療圏地域医療構想調整会議 議事概要

【日 時】 令和7年8月20日（水） 19:00～20:00

【開催方法】 オンライン開催

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。
- かしだ産婦人科クリニック、総合病院山口赤十字病院（※）及び山口若宮病院（※）の病床数適正化支援事業に係る病床削減について説明を行い、新興感染症に係る協定による病床の確保等、地域の医療提供体制に問題がないことを確認した。
※を付した医療機関については、地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更についても説明を行い、合意した。

- 1 令和7年度地域医療構想調整会議の進め方について
- 2 令和6年度病床機能報告結果について
- 3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、今年度の地域医療構想調整会議の予定、新たな地域医療構想の国の検討状況、地域医療介護総合確保基金の期間延長等について、説明を行った。

また、令和6年度病床機能報告結果について説明を行った上で、地域医療構想の進捗状況を検証するとともに、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

4 病床数適正化支援事業について

各医療機関等から、病床数適正化支援事業に係る病床削減について説明を行った。

総合病院山口赤十字病院及び山口若宮病院については、これに加え、対応方針（2025 プラン）の変更について説明を行った。

かしだ産婦人科クリニックの病床削減については、急性期病床9床を削減すること及び新興感染症に係る協定による確保病床が無いことが説明された。

総合病院山口赤十字病院の病床削減については、人口減少・高齢化に伴う中長期的な患者像への変化に対応するため高度急性期病床を9床及び急性期病床を41床削減すること、新興感染症に係る協定による確保病床については削減後の病床全体の中で状況に応じて確保すること及び削減病床は休床又は稼働していない病床であり、削減後の病床に適正な人員配置をすることで、入院医療の継続に支障が無いことが説明された。

山口若宮病院の病床削減については、限られた医療人材を地域の中で適切に活用するため慢性期病床18床を削減すること、新興感染症に係る協定による確保病床が

無いこと及び削減病床は休床中であり、削減後の病床利用率に余裕があることから新規入院患者の受け入れに問題が無いことが説明された。

協議の結果、これらの医療機関の病床削減について新興感染症に係る協定による病床の確保等、地域の医療提供体制に問題がないことを確認した。

総合病院山口赤十字病院及び山口若宮病院については、これに加え、対応方針の変更について合意した。

(主な意見・質問等)

意見、質問等なし

5 かかりつけ医機能報告制度について

県医療政策課から、かかりつけ医機能報告制度について説明を行った。

(主な意見・質問等)

意見、質問等なし